

42人を自主防災マイスターに認定

北上市自主防災マイスター講習は10月23日、北上地区消防組合消防本部で実施されました。同講習は、地域における防災リーダーの養成を目的として本年度創設された「北上市自主防災マイスター認定制度」に基づき行われたもの。受講した人を、北上市自主防災マイスターに認定します。

講習には、市内各自主防災組織の代表者など42人が参加。災害や気象に関する講義のほか、災害時の対応をイメージしながら話し合うクロスロードゲームなどを通して防災に関する知識を深めました。講習終了後、受講者には認定証と腕章が交付されました。自主防災マイスターの認定期間は3年。市は、3年後までに、市内各自主防災組織から1人以上を同マイスターに認定することを目指し、今後も講習を続けていきます。

きたかみ暮らし体験ツアーを開催

きたかみ暮らし体験ツアーは3日・4日の2日間、市内で行われました。北上市への移住を考えている県外在住の女性を対象に、市の暮らしや文化を体験してもらう同ツアー。2月・3月・8月に続き4回目となった今回は、東京都、埼玉県、静岡県から計4人が参加しました。

参加者は初日、鬼の館での鬼剣舞面作りワークショップや、口内地区の果樹園でのリンゴ収穫、二子さともいもを使ったものこ汁づくりなど

を体験。2日目は、市街地散策のほか、移住経験者との交流などを行いました。市は、31年3月にも同ツアーを開催する予定です。



二子さともいもを使ったものこ汁作りを体験する参加者

子育て支援員研修(地域保育型)を実施



クロスロードゲームで災害時の対応を話し合う受講者

子育て支援員研修は2日、おでんせプラザぐるーぶで行われました。同研修は、小規模保育事業所などで保育に従事することができるとして、支援員の養成を目的とするもの。31年2月までの全5回で、保育や子育て支援に関する知識や技能を身に付けます。初回は、20代から60代の男女21人が参加。講義では、子育て家庭を取り巻く環境のほか、子どもの発達などが解説



子どもたちと行うリズム手遊びを体験する参加者

されました。今後は保育施設見学も行い、子育て支援に関する知識を深めていきます。

「ちやちやっど！パパッと！簡単朝食レシピコンテスト」受賞者を表彰

「ちやちやっど！パパッと！簡単朝食レシピコンテスト」

「ちやちやっど！パパッと！簡単朝食レシピコンテスト」表彰式は10月28日、JAいわて花巻北上支店で行われました。同コンテストは「簡単で、時間をかけず、バランスの取れた」朝食レシピを募集するもの。優れた朝食レシピを公開し、朝食習慣の促進につなげることを目的に行われています。

今回は、主食・主菜・副菜を組み合わせた「簡単バランス部門」と「単品部門」に計27点の応募がありました。表彰式では、各部門の最優秀賞と優秀賞を受賞した6人に表彰状を贈りました。

【単品部門】

★最優秀賞：「ふりかけの焼きおにぎり」(菊池久子さん・二子町)

○優秀賞：「ささっとでき

るさばの炊き込みご飯」(小原琉貴さん・和賀東中2年)、「和風!?イタリアン丼」(大塚大和さん・飯豊中1年)

【簡単バランス部門】

★最優秀賞：「レンジ1つで簡単！栄養満点ガパオライス」(八重樫恵さん・東陵中2年)

○優秀賞：「ナスとトマトを使ったヘルシーオムライス」(松長駿弥さん・飯豊中1年)、「ご飯がすすむおかず」(菅野咲穂里さん・口内小6年)

※レシピは、市のホームページに掲載しています。

4人募集！北上市地域おこし協力隊

市は、平成31年4月以降に委嘱する地域おこし協力隊員を募集しています。三大都市(東京・大阪・名古屋)圏や、政令指定都市などにお住まいの知り合いなどで興味がある人がいましたらぜひご紹介ください。

地域おこし協力隊とは、都市部の住民が地方に移住し、地域おこし活動を行ってもらうことで地域活性化を図る制度です。市内では現在8人の協力隊員が活動しています。

○募集内容

将来の養蚕経営者

- ▷定員…2人
- ▷受け入れ先…(株)更木ふるさと興社
- ▷活動内容…更木地区でかつて盛んだった養蚕を復活・再生させ、日本初となる健康食品向けのカイコ・シルク生産供給拠点を構築します

ローカルカンパニー魅力発信チームメンバー

- ▷定員…2人
- ▷受け入れ先…(株)北上オフィスプラザ
- ▷活動内容…事業者の魅力を取材・編集し、世界に向けて発信することで、地元事業者の新しい挑戦を支援します

▶活動日数・報酬…月20日(1日8時間程度)・月額20万円(活動日数が20日未満の月は月額1万円)

※活動の対価として報酬を支払います。市と雇用関係はありません。

▶要件…現在、三大都市圏や政令指定都市などに居住し、委嘱後に住民票を北上市に異動し、活動できる人(その他の地域からの異動でも要件に該当する場合があります)

詳細は市のホームページへ



○東京都内で説明会を開催します

▶12月15日(土)①14:00～16:00②16:00～18:00

JOB HUB SQUARE ホワイエ(千代田区大手町二丁目6-2パソナグループ本社12F)

▶12月16日(日)①11:00～13:00②13:30～15:30③16:00～18:00

移住・交流情報ガーデン地下スペース(中央区京橋一丁目1-6越前屋ビル)

問い合わせ 都市プロモーション課 ☎72-8308

ダイバーシティ

珈琲ブレイク

82

北上市長



某テレビ局で週末に放送されている番組「チコちゃんに叱られる！」が面白い。日常の何気ない会話に含まれる言葉に、突然「なぜ？」と5歳のチコちゃんに問われ、答えられずに戸惑うゲストたちの表情がなんとも滑稽である。それにしても意味も分からずに何となく分かったつもりでいる言葉の多いことか。「ダイバーシティ」もその一つかも知れない。多様な人材の活用などでよく使われる「多様性」という意味の外来語なのだが、なかなか理解しにくいようである。チコちゃんはうまく答えられるのだろうか。

本年度北上市はこの「ダイバーシティ」を基本にした男女共同参画推進に関する条例を制定しようとしている。当市はすでに男女共同参画推進計画を策定し、積極的な女性登用に取り組んではいるが、なかなか前進していないのが現状である。審議会などの女性の割合を見ると、市議会議員は26人中5人、農業委員会は18人中6人である。それでも他の自治体に比べれば多い方であるが、多くの審議会などでは女性委員の割合が30%に満たない状況である。つまり、政策形成の場への女性の参加率が極めて低いのである。市としても女性参加を強く働き掛けてはいるが、まだ何かがブレイクとなっているようだ。それは、人々の意識なのか、制度なのか。男女のみならず多様な立場からの社会参画を得ることが政策の精度向上につながるから、条例の制定がそのきっかけになることを願っている。本条例によって、市民、議会、行政がそれぞれ覚悟を持って取り組む姿勢を示すべく、現在、内部検討を進めている。来る12月6日には市民フォーラムを開催することとしている。ぜひ、多数のご参加をいただき、「ダイバーシティ」への理解を深め、より良い条例づくりにつなげたいものである。